

そぎてとりていぬ。○下略

〔平治物語三〕牛若奥州下事

牛若ハ鞍馬寺ノ東光坊阿闍梨蓮忍ガ弟子、禪林坊阿闍梨覺日ガ弟子ニ成テ、遮那王トゾ申ケル、

〔平家物語一〕妓王ガ事

まらびやうしのじやうず、一人出來たり、加賀の國のものなり、名をばほとげとぞ申ける、年十六とぞきこえし、

〔吾妻鏡九〕文治五年二月廿一日癸巳、宮根兒童等、依召去夜參著、是爲勤仕來月三日鶴岳舞樂也、童

形八人、増壽、宮熊、壽王、閉房、楠鶴、陀羅尼、彌勒、伊豆石丸等也、

〔吾妻鏡十二〕建久三年五月廿六日丁酉、多賀二郎重行、被收公所領、是今日、江間殿○北條義時息童、金剛

殿○北條泰時步行而令興遊給之處、重行乍令乘馬、打過其前訖、

〔吾妻鏡十二〕建久三年八月十四日甲寅、於鶴岳廻廊外庭、放生會相撲、内取手被召決云云、藤判官代

爲奉行云云。○中略

八番 小中太 千手王

十五日乙卯、鶴岳放生會舞樂也。○中略

舞童

左 金王○中略 彌陀王

右 夜叉○觀音

〔東寺文書抄二〕讓渡相傳之私領地并下人事○中略

下人 生年九歲、字愛德女、

右件元者、依爲相傳之私領、次女字明。王御前讓渡進處、在地明白也云々、